

中島構成員コメント資料

■ 3Dプリンタを利用するための周辺技術開発が必要

3Dプリンタのメリットを最大限に発揮させるためには、その設計技術とその評価方法が大変重要である。

弊社が目指している人工関節への応用を目指す際には、以下のプロセスが必要になる。

①医療画像の撮影 → ②骨形状の抽出 → ③最適な人工関節の設計（設計検証含む）

①および②については、真の骨形状に精密に、且つ迅速に骨形状を抽出できることが求められる。

③については、設計すべき人工関節の設計指針はもちろん、その設計された人工関節の特性評価をFEAなどの手法を用いて評価することが必須となる。

■ 薬事承認取得までの道のりを考慮する

医療機器は許認可制度が必要である。

治験には準備から修了までには約3年、承認申請から承認取得までに約2年、販売開始までに約1年がかかる。装置ができてから薬事承認作業をしていると時間がかかり過ぎる。3Dプリンタ完成後早急に製品が上市できるよう、対策が必要である。

■ 知的財産を保護する

海外技術に先を越されないためにも、知的財産戦略は重要である。